

学ぶ・働く・生きるを支援する

キャリア・コンサルタントになりませんか

キャリア教育

進路相談

転職支援

働き方支援

就業支援

キャリア開発支援

仕事の悩み相談

キャリアデザイン支援



1. キャリア・コンサルタントはどこにいるのか

企業内:

- ・キャリア相談室
- ・総務、人事、人材開発部門
- ・労組
- ・職業能力推進員

学校:

- ・大学キャリアセンター
- ・高校進路指導部

人材会社:

- ・再就職支援会社
- ・人材紹介/派遣会社

自営:

- ・社労士
- ・人事コンサルタント
- ・キャリア教育講師

NPOに所属:

- ・若年就労支援NPO
- ・自立支援NPO
- ・働く女性支援NPO
- ・留学生支援NPO

公的機関:

- ・ハローワーク職員(窓口、中小企業向け啓発活動担当、ジョブカード推進者など)
- ・地方自治体の就労支援センター
- ・地方自治体の職業能力開発推進員として、ジョブカフェの担当として
- ・雇用・能力開発機構の各都道府県センター
- ・職業訓練校

その他:

- ・看護師
- ・スポーツ選手キャリア・ケア
- ・自衛隊キャリア・ケア

2. キャリア・コンサルタントは何をする人か

「学んで働いて生きる」ことへの側面支援をする人です。(選択したり決定するのは個人です)

必要に応じて、**カウンセリング**する

(1) 個人の自己理解を促進させる:

興味・夢・希望・得意・苦手・目標・燃える理由などを自覚させる。そしてなぜそう思ったのかなどの背景を考えさせる。

(2) 職業を理解させる:

世の中にはどんな仕事があるのか、どうしたら就けるのか、そしてそれを調べる方法を知らせる。

(3) 啓発的な行動への支援:

本人が夢や目標に向かって能動的に行動するように援助する。

(4) 意思決定への支援:

本人が進路や方針を決めるにあたって、不安を軽減させて、自ら決定したり行動したりするように、サポートする。

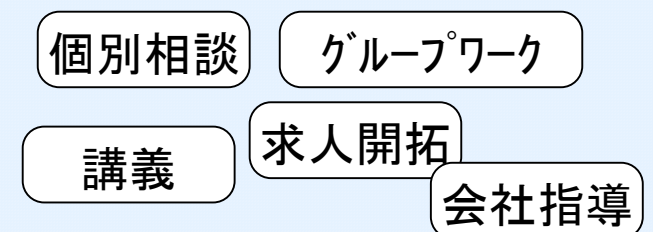
(5) フォローアップ:

その後の相談に応じてあげたり、助言してあげる。

例えば、こんな場面で支援します



支援方法の例



- *個人が、より自分らしい、より充実した職業人生を歩んでもらえるよう、側面支援する専門家をキャリア・コンサルタントといます。
- *ここ10年で日本に定着してきた新しいタイプの職業です。
- *個人への個別支援やグループ・ワークなどを通じて、個人が自分の価値観や職業観などを理解してキャリア発達、キャリア開発できるように、カウンセリングをしたり、情報提供したり、組織への提言をしたりします。
- *キャリアを学歴や職歴だけに限定せず、人生での働く意味・意義として捉え、個人の成長のために仕事をします。
- *キャリア・コンサルタントになると
 - 職業人生の経験を活かせる
 - 人の成長を支援する喜びがある
 - 仕事そのものが自己成長になる
 - 個別の問題や守秘義務・倫理綱領の中で仕事をする厳しさがありますが、他の仕事では味わえないものがあります。
- *個人のキャリア発達・キャリア成長・キャリア開発への支援を中心にする活動ですが、臨床的なカウンセリング分野や教育・研修・コンサルティング分野との境界領域も扱います。したがって、資格取得したからよいという考えではなく、実践し、先輩に相談し、習得すべき新たな自己課題に気づいて勉強をし、それによって力を付けていくというキャリア・コンサルタントの成長サイクルをまわすことが大切です。

3. キャリア・コンサルタントの資格って、 どうなっているのか

A: 国家検定(技能検定)

- ・呼称は2級キャリア・コンサルティング技能士(1級は構築中)
- ・キャリア・コンサルティング経験が5年以上あれば誰でも受検できる。「下記B」の資格を持つと、経験3年で受験でき、学科試験免除の道もある。

B: 標準レベル資格

- ・厚生労働省指定キャリア・コンサルタント能力評価試験を実施する民間機関が発行する資格。
- ・「〇〇協会認定キャリア・コンサルタント」、「〇〇協会認定キャリア・カウンセラー」、「キャリア・ディベロップメント・アドバイザー」、「キャリア・ディベロップメント・ファシリテーター」などの呼称があり、各々の機関の養成講座を修了して受検できる。

C: その他の民間資格

4. 民間資格と国家検定(技能検定)の関係は？

技能士(国家検定)と民間資格は、資格試験の枠組みが異なりますから、制度上の上下関係はありません。

1級キャリア・コンサルティング技能検定試験は構築中。

2級キャリア・コンサルティング技能士

合格

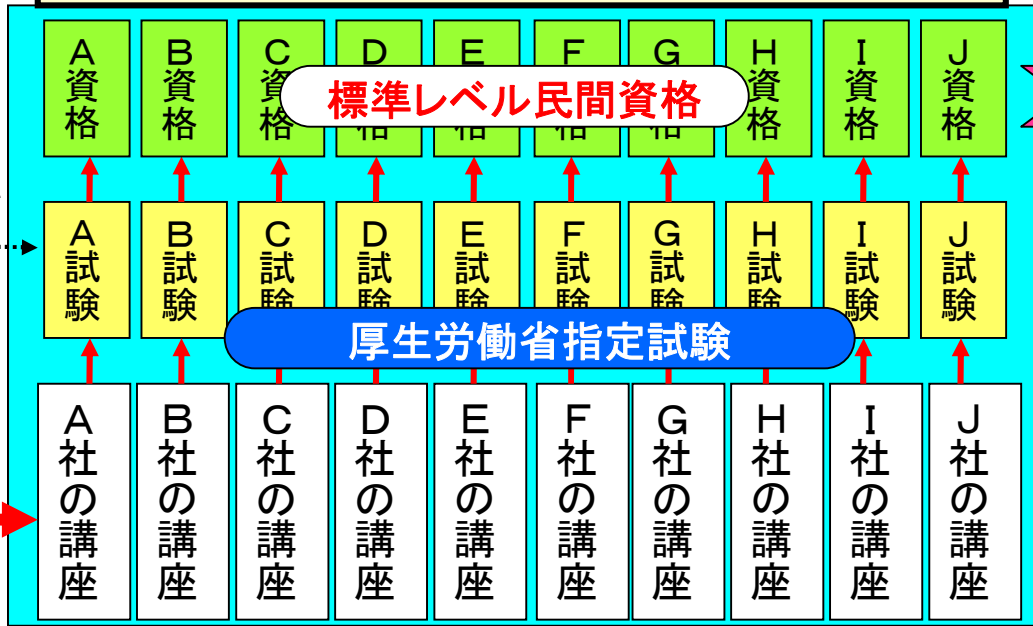
2級キャリア・コンサルティング技能士試験(国家検定)

平成22年4月で1,050人前後いる。

経験3年で受験可 (かつ、特例講習1日間の修了で学科試験免除)

経験5年で
ダイレクト受験可

平成22年3月で28,700人前後いる。



自習

状況によって、受験を受け入れる場合あり。
右記以外の団体の養成講座

養成講座の受講

一般人

5. キャリア・コンサルタントになるには、何を学んだらいいのか

【学ぶ内容の例】

- 職業発達理論、職業選択理論、職業情報の取り方
- 各種アセスメント、自己理解ツールの使い方
- 労働経済、人事労務管理、労働関係法規・制度
- 各種キャリア理論、キャリアプラン、キャリア開発、人材開発、行動科学
- 各種カウンセリング関連理論、カウンセリングスキル、メンタルヘルス
- キャリア・コンサルティングのプロセス 等

【学ぶ方法】

- A. 養成講座に通う(通学・通信教育併用の機関もある)
- B. 自分で勉強する(過去の経験と関連の学習歴が無い人には大変困難)

6. どの団体で学んだらいいのか

いろいろな機関で養成講座を開催していますが、養成期間(時間)、カリキュラム、受講料、開催地域がそれぞれに設定されています。したがって、どの講座が自分の状況(地域、期間、費用、志向など)に沿うかを比較検討したり、講座を受けたことのある知人に聞いて参考にしてください。

下記の厚生労働省指定試験を実施している機関10機関とその関連機関では、厚生労働省標準カリキュラム(130時間以上)で実施しており、一定の評価を得ている機関といえます。キャリア・コンサルティング協議会ホームページに各機関の講座一覧表を掲載していますのでご覧ください。

【厚生労働省指定試験*】(標準レベル資格を取得するための養成講座)

- | | |
|------------------------------------|---|
| ①特定非営利活動法人ICDS(養成機関は(有)キャリア・サポーター) | ⑥株式会社テクノファ |
| ②NPO生涯学習(養成機関は(株)東京リーガルマインド) | ⑦特定非営利活動法人日本キャリア開発協会(養成機関は(株)日本マンパワー、他) |
| ③財団法人関西カウンセリングセンター | ⑧社団法人日本産業カウンセラー協会 |
| ④特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会 | ⑨財団法人日本生産性本部 |
| ⑤特定非営利活動法人キャリア・マネジメント・カウンセラー協会 | ⑩株式会社日本ドレーク・ビーム・モリン |

*厚生労働省指定試験を実施する機関とは:その機関の養成カリキュラム・講師陣・運営体制と試験体制について厚生労働省の審査を受け、試験料(受講料ではありません)の3/4を受検者の雇用主に給付する「キャリア形成促進助成金対象・キャリア・コンサルタント能力評価試験」の指定を受けた機関のことです。

7. 資格がないとできないのか

- 国家検定(技能士)の資格をも持たなくても、標準レベル資格(民間資格)をも持たなくても、「やってはいけません」という規制はありません。
- しかし、およそ人の職業人生に係る者が、我流で実施することは現実問題として無責任ですし、場合によっては不幸な結果を招くことも想定できます。したがって、キャリア・コンサルタントの募集に、資格保有者であることを条件とするケースが増えています。
- 学びはしっかりするべきですし、たとえ資格を取得したとしても、たゆまぬ自己研鑽(再訓練や情報収集)やスーパービジョン(上位者や先輩に自分のキャリア・コンサルティングについて相談すること)は必須です。
- 資格ありきでなく、実力と倫理ありき。資格は研鑽の目標や目安として捉えたほうがいいでしょう。

8. キャリア・コンサルタントやその機能を導入したいと考える組織担当者の方へ

組織と個人は相互尊重・相互依存・相互選択の関係になってきました。

キャリア・コンサルティングは、その統合を具現化します。

- 社員の抱え込み管理から個人尊重へ
- 一方、自己理解・自己決定・自己責任の意識を社員に持ってもらう
- 自己と他人の違いを大切にすることへの支援をする
- 目標管理とCDP(キャリア開発プログラム)が奏効する人事制度にする
- 社員のキャリア成長が企業成長となるインフラづくり

社員としてのキャリア・コンサルタントを配置するか、外部リソースを投入するか、そして人事・人材育成の仕組みにどう組み込めばよいか。相談に対応できる専門家を紹介できます。



キャリア・コンサルティングは人への支援。

相手（相談者）との関係を築きながら、聴いたり、助言したり、教えたり、何かをさせたりして、相談者自身が問題や課題を見つけ、自力で解決する支援をします。

守秘義務、行動規範、倫理の中にあって、高い自覚とたゆまぬ自己研鑽が資格取得の後も必須となります。

それが故に、キャリア・コンサルティングの仕事は人間として・専門家として自己成長を実感できる仕事でもあります。

ご興味のある方は、是非、下調べをなさってください。

キャリア・コンサルタントに関することで、分からないこと、知りたいことは下記にお問合せください。



特定非営利活動法人キャリア・コンサルティング協議会

電話 03-5402-5588 FAX. 03-5402-5599

終